

平成 27 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 27 年 4 月 1 日

至：平成 28 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	12,999	13,216	216	(注1)
施設整備費補助金	1,783	1,783	0	
補助金等収入	302	286	△ 15	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	67	67	-	
自己収入	22,867	22,926	58	
授業料、入学料及び検定料収入	5,632	5,148	△ 484	(注3)
附属病院収入	17,045	17,414	368	(注4)
財産処分収入	7	-	△ 7	(注5)
雑 収 入	182	363	180	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,173	2,147	△ 25	(注7)
引当金取崩	-	74	74	(注8)
長期借入金収入	752	751	0	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	40,946	41,253	307	
支 出				
業務費	34,327	34,794	466	
教育研究経費	18,055	17,463	△ 591	(注9)
診療経費	16,271	17,330	1,058	(注10)
施設整備費	2,602	2,602	0	
補助金等	302	286	△ 15	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,173	2,137	△ 36	(注12)
長期借入金償還金	1,540	1,521	△ 18	(注13)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	40,946	41,342	396	
収 入 - 支 出	-	△ 89	△ 89	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特別運営費交付金の追加配分により、予算額に比して決算額が216百万円多額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、見込み額を過大に見積もっていたことから、予算額に比して15百万円少額となっております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料及び入学料免除の実施により、予算額に比して決算額が484百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、高額医薬品の増加に伴う外来診療単価の上昇により、予算額に比して決算額が368百万円多額となっております。
- (注5) 財産処分収入については、当初予定していた宿舍の売却がなかったことから、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。
- (注6) 雑収入については、内部保有資金の執行による増加及び附属病院における施設使用収入の増加などにより、予算額に比して決算額が180百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、見込み額を過大に見積もっていたことから、予算額に比して決算額が25百万円少額となっております。
- (注8) 引当金取崩額については、予算段階で予定していなかった引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が74百万円多額となっております。
- (注9) 教育研究経費については、(注3)に示した理由及び診療経費への振替により、予算額に比して決算額が591百万円少額となっております。
- (注10) 診療経費については、医薬品費の増加、過年度職員人件費の増加及び診療業務拡大に伴う看護師増員による職員人件費の増加などにより、予算額に比して決算額が1,058百万円多額となっております。
- (注11) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が15百万円少額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由及び翌年度への繰越の発生により、予算額に比して決算額が36百万円少額となっております。
- (注13) 長期借入金償還金については、予算策定後の借入利率の見直しにより、予算額に比して決算額が18百万円少額となっております。

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示しています。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息216百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示されております。